



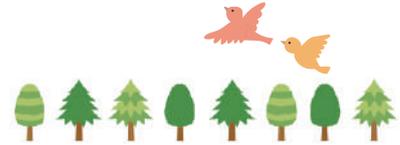
# 京都 YWCA

# 9 2022



古都に咲いて100年

## 京都 YWCA 100 周年記念講演会 「W・M・ヴォーリズの業績と建築 ～京都 YWCA サマリア館に見るその魅力～」を終えて



新型コロナウイルスの第7波が寄せ中、京都では3年ぶりの祇園祭が完全な形で執り行われ、7月24日には後祭の巡行を無事終了した。その日、2023年に創立100周年を迎える京都YWCAでは、「W・M・ヴォーリズの業績と建築～京都YWCAサマリア館に見るその魅力」と題して感染防止対策を徹底し、記念講演会を開催した。当日はオンラインと来館で多くの方に参加していただき感謝している。一粒社ヴォーリズ建築事務所顧問の芹野与幸さんの講演では、ヴォーリズの活躍には女性の社会進出や日本におけるYWCA運動の広がりという時代の影響があること、彼の建築家だけにとどまらない魅力について知ることができた。そして、同社の入江潤さんには写真とライブ映像によりサマリア館の魅力をたっぷり紹介していただき、改めてその素晴らしいさを感じることができた。

手が取れそう、キッチンの西日がきついよ～、などと感じることも多いが、ありがたい存在であることは確かである。これからも京都YWCAの活動を支え、見守っていてほしいと願っている。そのためにも多くの方にその存在を知っていただき、これからも長く安心・安全な建物であり続けるためのご協力をお願いしたい。  
(河野伴子)

### みんなの「居場所」としてのサマリア館

サマリア館は今年で築85年を迎える。京都YWCAの歴史の中で、その時々はその役割を変えながら静かに見守ってくれてきた存在と言える。

現在は、2014年から1階部分を改修した「うららかふえ」で日々のランチ提供やさまざまな人の「居場所」として活用している。そして、今年度から始動した「YここKitchen」では困難を抱える若い女性や子どもたちが、食をつなぐに「自分の居場所」として集まってくるようになった。

年とったサマリア館とともにうららかふえボランティアとして活動している私は、床がいつか抜けるのでは？ドアの取

### ヴォーリズ建築であるサマリア館を補修し 「居場所」を提供！

京都YWCAでは、ヴォーリズが設計した築85年の「サマリア館」を補修するために、7月1日～10月1日までクラウドファンディングを実施しています。

傷みの目立つ歴史的建造物の補修を行い、生きづらさを抱える女性がいいつでも立ち寄れる安心・安全な居場所の提供を続けるために、ご支援・ご協力をお願いいたします。

下記URLまたはQRコードから、サマリア館での活動の様子などをご覧ください。



<https://congrant.com/project/kyotoywca/4797>



クラウドファンディングのトップ画像



ヴォーリズの思想と建築を知るひと時



バーチャルサマリア館ツアーにもチャレンジしました！

## 京都 YWCA プロギング始動！！ ～明るい未来へ向けての意識を広げて～

京都 YWCA では 100 周年記念実行委員会の下にチームを組み、2023 年設立 100 周年に向けさまざまな取り組みが行われています。イベントチームでは、7 月 16 日に第 1 回京都 YWCA あじさいプロギングを実施しました。

プロギングは 2016 年スウェーデン発祥の、ジョギングしながらゴミを拾う SDGs スポーツです。昨年 2 月にお試し会でその楽しさを実感。今年度より本格始動させることになりました。

各自マイボトルでの水分やタオルなどを準備して集合。プロギングのやり方を学び、いよいよ出発です。実は走る



プロギングで身体も、心も、街もきれいに！

るのが苦手な私はついていけないのか心配でした。でも「ウォーキングで大丈夫」と言われ、チームでわいわいゴミを探しな

がら歩くと、自然と背筋が伸びて足取りは軽快になっていきました。私が参加したチームは京都府庁周辺を中心とするコースを回ったのですが、一見美しく見える植え込みの陰から、でるわでるわ・・・たくさんのペットボトル、空き缶などが見つかりました。歩道にも眼をこらすと吸い殻やタバコの箱、ライターまで落ちていてビックリです。今回 3 コース、1 時間の取り組みで集まったのは、ペットボトル 30 個、空き缶 30 個、その他のゴミが 20 個でした。

京都 YWCA あじさいプロギングは、京都府庁循環型社会推進課の方の目にもとまり、同課からのご参加もありました。府の「2 万人の京都クリーン movement」の一環である SNS「ピリカ」に投稿したところ、全国から「ありがとう！」のメッセージが寄せられました。やればやるほどに身体・心・街がきれいになるプロギングは、楽しさだけでなく「自分の力で世界を変えていける！」と感じられる取り組みです。今後も奇数月第 3 土曜日に実施予定です。次回は 9 月 17 日です。ご参加をお待ちしております。  
(別所加恵)



## 良心的兵役拒否の権利はいかにして実現したか

『灯火とともに闇のなかを～二つの世界大戦に見る良心的兵役拒否者』を読んで

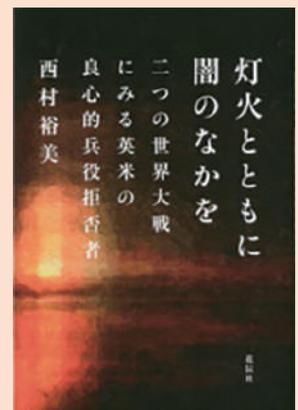
著者は、京都 YWCA 元職員の西村（小西）裕美さん。70 年代から 90 年代にかけて徐兄弟（韓国留学中に逮捕投獄された）の支援活動に熱心に関わられた方。私にとって興味深く、感動的だったので、内容を紹介します。

導入部では、イギリスやアメリカでは、二つの世界大戦時、良心的兵役拒否者の権利を保障する制度が実現していた。国民の大半が「正義の戦争」と支持するなかにあっても、「良心の自由」を古来の伝統とするイギリスと少数者の権利擁護を民主主義社会の根幹と位置づけるアメリカだったからこそ、国として良心的兵役拒否者の権利を保障することができたと思われる。こうした制度化の実現過程に大きな貢献を果たしたのは、クェイカー、メソジスト教会、プリズレン教会を中心とする「平和教会」と呼ばれるキリスト教の少数派である。彼らには共通して、クェイカーの平和思想が基軸となり、「戦争に与しないという立場からの平和の構築に寄与する」という強い意志があった。

1 章はクェイカー史に見るパシフィズム（平和主義）、2 章と 3 章は英国・米国・二つの世界大戦時の良心的兵

役拒否者について、と 3 章にわたって膨大な資料に基づき、クェイカーのパシフィズムとは何か、良心的兵役拒否者や、裏切り者、臆病者とみなされる兵役拒否者たちをどのようにして社会貢献へと導くかなど、支援者たちの厳しく、賢明な様子が詳しく述べられている。

終章として兵役拒否制度のない日本での「アジア太平洋戦争時の日本の良心的兵役拒否者」の事例の記載もある。クェイカー草創期にイギリスからアメリカ大陸に渡り、「戦争に与しないという強い意志」を貫く厳しい命がけの苦難の道のりが描かれている。そして「武力で平和は創れない」「非暴力による紛争、対立の解決を」という京都 YWCA の主張に大きな励ましをもらったと感じた一冊でもあった。  
(坪野えり子)



## 日本語を学びながら「かふえ」で働く「ひろし君」にインタビュー



京都 YWCA の日本語教室「洛楽」で日本語を学び、京都府の若者就職支援推進事業の枠で「うららかふえ」で働いているひろし君にインタビューしました。

ひろし君は 2018 年、17 歳の時お母さんと一緒に来日しました。それまで中国の広西省桂林で祖父母、叔母や従兄弟たちという大家族でとても楽しく暮らしていましたが、日本国籍なので将来のことを考えて日本の学校へ行った方がいいと思い、来日を決めました。来日前は全く日本語ができませんでしたし「日本の生活ってどんなだろう?」「学校で友達と話せるかなあ?」とか少し不安がありました。

現在、京都府立鳥羽高等学校の定時制在籍で 4 年生です。得意科目は数学、苦手は国語だそうです。週 4 回飲食店でアルバイトもしています。人間関係などで嫌なこともあるそうです。「洛楽」には週 2 回、「うららかふえ」には週 1 回来ています。「洛楽」には、いつから来ているかわからないぐらい何年にもなります。高校は若い先生が多いが、「洛楽」では「おばさん」が多い（そうでしょう。教職を引退して来ておられる方も沢山いらっしゃいますからね）。

「うららかふえ」では料理補助と給仕をしています。特に苦手に思う仕事はなく、優しい人ばかりでとても楽しく働いているそうです。

高校を卒業したらコンピューターの専門学校に行きたい、そして将来はアニメーションを作りたい、という夢を持っています。最後に「ひろし君にとって京都 YWCA とはどんなところ?」と聞いてみると「家みたいなおとこ。心の中でこの人が家族みたいに思える」とのことでした。

ひろし君との出会いは、もともとお母さんが APT（京都 YWCA の多言語相談）に相談事があって来られたのがきっかけでしたが、今、京都 YWCA はひろし君の居場所の一つとなっているようです。夢に向かって頑張ってくださいね。応援しています!

(神門佐千子)



ひろし君誕生日パーティー (2021)



### シリーズ——京都 YWCA 100 年の歩み (10)

## 女性高齢者に住まいと社会参加の機会を提供する「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」づくり



### 時代の波にもまれる会館事業、建物の老朽化 (1980 年代-2013)

京都 YWCA の建物は活動の場であると同時に「女性の住まい」の場であり、収入源でもあった。1967 年から日赤病院看護婦寮であった 3 ~ 5 階が 1985 年に契約が解消され、以後ホステルとした 2 階は経営不振のため 1989 年に終了。1999 年には 2 ~ 5 階全体を女子宿舎としたが、数年後より空き室が増えていった。一方、専門家から建物の老朽化への対応の必要性が指摘された。

### 将来構想プロジェクトから中長期ビジョン・プロジェクトへ (2004-2014)

課題を解決しようと 2004 年に「将来構想プロジェクト」を立ち上げ、旧館と呼んでいた W.M. ヴォーリス建築の価値を再認識し、聖書の隣人愛に関する一節にちなんで「サマリア館」と名付けた。新規事業を模索する中で児童館事業の提案もあったが実現しなかった。

再び新事業を検討するため「中長期ビジョン・プロジェクト」を立ち上げ (2009)、本館キッチンも改修しミニホールを作った (2011)。検討の過程で新規事業案を 3 つに絞り、高齢者住宅、自立援助ホーム、ふれあいの居場所食堂の準備チームを立ち上げた。

### 新しい高齢者の住まい方の提案「サラム」(2014-)

2013 年に高齢者の新しい住まい方の提案を求める国土交通省の「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業<先導的事業>」に応募した。京都 YWCA の提案は、高齢者をケアの受け手としてのみ位置づけるのではなく、高齢者に人々とふれあい、社会参加してもらえらる住宅と場を提供しようとするものであった。それは、子どもから高齢者まで、さらには多様な文化的背景をもつ人々が交流し協働するコミュニティづくりとして提案され、選定された。

2014 年に耐震工事を含むサマリア館と本館の改修工事を終え、9 月よりサービス付き高齢者向け住宅「サラム」、ふれあいの居場所食堂「うららかふえ」、留学生寮「あじさい寮」を、2015 年 9 月には自立援助ホーム「カルーナ」を開所し、現在に至っている。



モデル事業の報告書「出会いを紡ぐ」



## サマリア館補修 クラウドファンディングへ ご協力をお願い

京都 YWCA は 2023 年に 100 周年を迎えます。京都 YWCA の敷地にある W.M. ヴォーリス設計のサマリア館は、現在京都 YWCA が進める「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業の大切な場として、日々利用されております。



1936 年に建てられた建物は築 85 年を迎えてさまざまな部分の補修が必要になっています。

現在、100 周年記念募金の一環として「サマリア館補修のためのクラウドファンディング」を実施しております。補修実現に向けて、皆さまのご支援をお願いいたします。

実施期間：7月1日～10月1日

目標額：150 万（当期間目標額、最終目標額 500 万）

クラウドファンディングのご寄付は  
次のサイトから



<https://congrant.com/project/kyotoywca/4797>

### 2021 年より 100 周年記念募金を実施しています。

目標額：1,000 万円（そのうちサマリア館補修に 500 万円）

募集期間：2021 年 4 月～2024 年 3 月

募金額：個人 1 □ 3,000 円

団体・企業 1 □ 10,000 円

100 周年募金全般やその他の分野へは事務所窓口で、あるいは郵便振替やオンラインでご寄付いただけます。

郵便振替 01080-9-1566  
加入者名 公益財団法人京都 YWCA

オンラインご寄付は次のサイトから



<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

### ご協力ありがとうございました

2022年6月1日から7月31日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

#### 各指定寄付

\*法人支援  
山本いづみ

#### \*100 周年記念募金

本田次男、有田孝子、安藤いづみ、  
神門佐千子、長塩滋子、大賀佐代子、  
中村美智子、実生律子、岡昭男、  
内貴陽子、佐久間早苗、近藤純弘、  
近野玲子、馬場京子、俣野尚子、  
筒井奈都子、村松通子、  
勝山久仁子、小林茂昌、入江潤、  
あじさいプロギング参加者一同、  
ヴォーリス講演会参加者

#### \*ふれあいの「居場所」事業部活動委員会

小池しをり、宮武美知子、山下智子

#### \*多文化共生委員会

西原美那子

#### \*APT

田中順子、本田次男、中村美智子、  
小澤亘、リンパヤラヤ・スプラニー、  
吉田公美子

#### \*自立援助ホーム「カルーナ」

井上里佳、青木理恵子、小杉總子、  
石田裕明、宮川道子、大山悠子、  
中野かおり、舟木和代

#### \*あじさい保育園

安藤昌人、安藤いづみ

#### \*賛助費

小林聡、白根睦久、船山昌代、  
奥村和恵、中村和雄

\*サマリア館補修のクラウドファンディングについては、寄付者のお名前は後日報告させていただきます。

8月22日現在集まった支援総額  
1,052,990 円 (70%)



## サマリア館お掃除大作戦

7月24日に実施した講演会（第1面参照）を前に、7月16日に皆でサマリア館の大掃除をしました。美しくなったサマリア館に一層愛着が増しました。



サマリア館の階段清掃の様子



## 7・8月／理事会報告

- 7/1：サマリア館補修クラウドファンディングを開始（10月1日まで）（本紙第一面参照）。
- 平和・環境活動委員会が「みつろうラップ」を作りロビーにて販売。
- 7/9：高齢者住宅サラムの居住者対象に福祉ネイルケア・グループによるハンドケア・ネイルを実施。
- 自立援助ホーム「カルーナ」ニュースレター 15 号を発行。
- 7/16：サマリア館の大掃除を実施。
- 7/24：記念講演会「W・M・ヴォーリスの業績と建築～京都 YWCA サマリア館に見るその魅力～」を実施（本紙第一面参照）。
- 8/7：オンライン併用学習会「『復帰』50 年 沖縄・女性たちの声」を実施。
- 8/19：小学生対象の夏休みディアウト・プログラム「ガジュマルの樹」を実施。

KYOTO YWCA No.570 2022 年 9 月号 (9月1日発行)

発行人：上村愈巳子

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上上ル近衛町44

電話：(075)431-0351

FAX：(075)431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

HP：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：(公財)京都 YWCA

定価：1部 50 円

発行：奇数月 1 日発行